

ポーランド・マクロ経済情勢

2019年11月
在ポーランド日本国大使館
経 済 班

ポイント

1 経済成長率は上昇基調

2018年のGDP成長率は5.1%で、好調な経済成長を遂げている（2016年は2.9%、2017年は4.8%）。政策金利は史上最低の1.5%を維持している。

2 生産及び消費は緩やかに拡大

9月の鉱工業生産は前年同月比5.6%増、小売販売は対前年同月比4.3%増。生産及び消費は緩やかに拡大している。

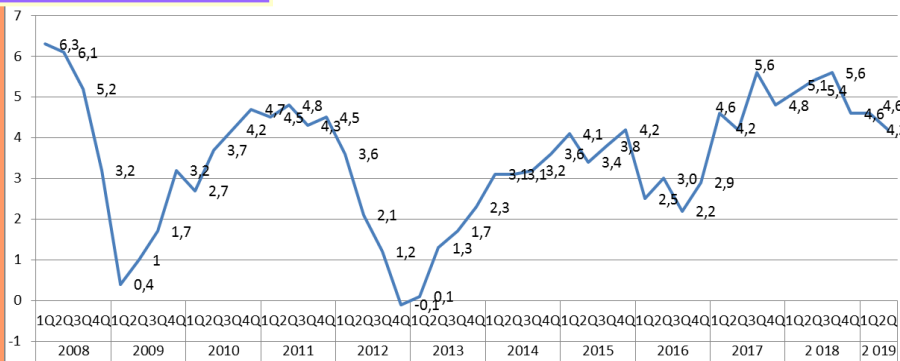
3 物価は上昇テンポが鈍化

9月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比2.6%上昇と、伸び率が鈍化した。2018年11月以来、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の下限值（1.5%）を下回っていたが、2019年3月以降、目標値の範囲内で推移している。

4 失業率は過去最低水準、賃金は上昇継続

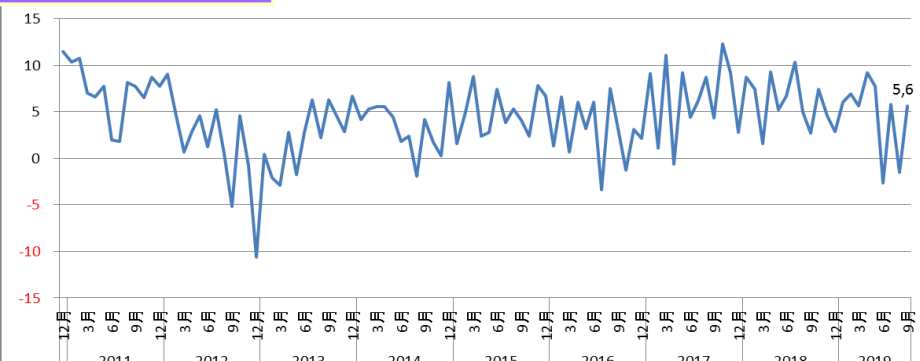
9月の失業率は5.1%、平均賃金上昇率は対前年同月比6.6%増。失業率は前月から減少した。

経済成長



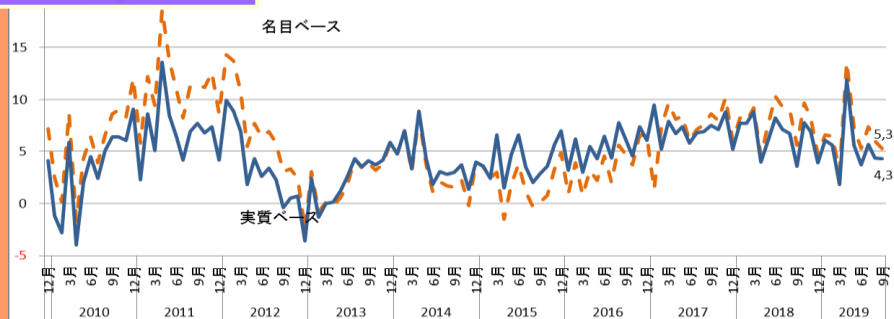
経済成長率は2016年よりも大幅に上昇。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

生産



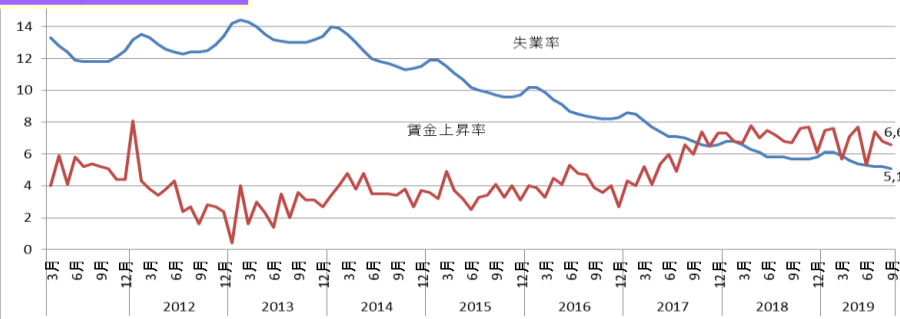
鉱工業生産は対前年同月比5.6%増加し、緩やかな拡大傾向にある。

消費



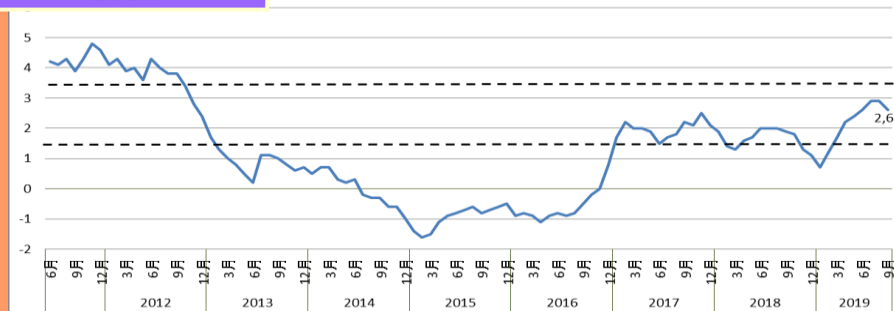
小売販売は対前年同月比4.3%増で、引き続き緩やかに拡大している。

雇用



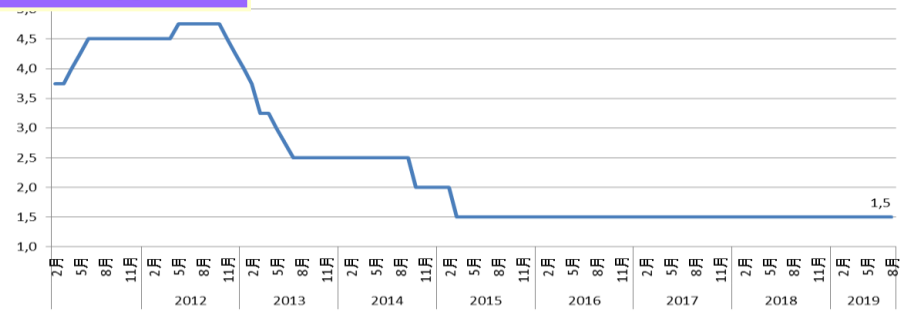
9月の失業率は5.1%と前月より減少した。平均賃金上昇率は対前年同月比6.6%増と引き続き上昇傾向にある。

物価



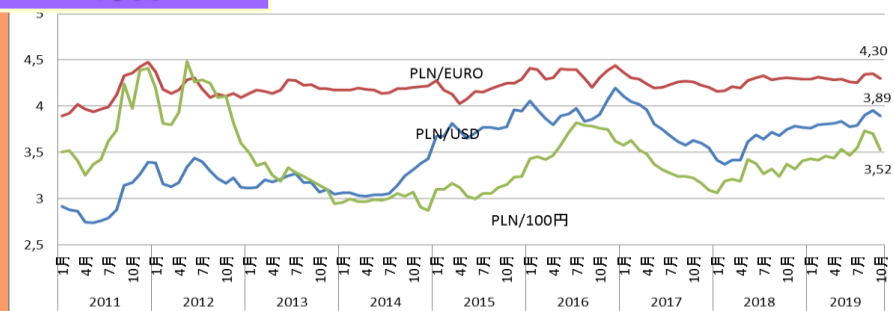
9月のCPIは対前年同月比2.6%上昇。2018年11月以来、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の下限値(1.5%)を下回っていたが、2019年3月以降、目標値の範囲内で推移。

金利



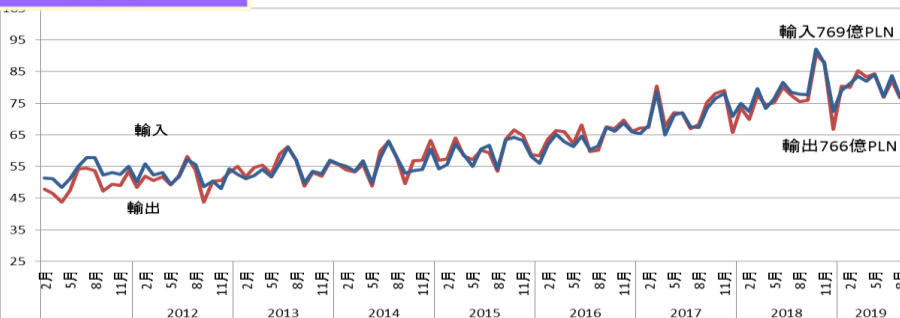
政策金利は2015年3月以来、史上最低の1.5%を維持している。

為替



9月の平均為替は、対ユーロ(4.30ズロチ)、対ドル(3.89ズロチ)、及び対日本円(3.52ズロチ)でそれぞれズロチ高が進んだ。

貿易



8月の輸出は約766億ズロチ、輸入は約769億ズロチで約3億ズロチの貿易赤字となった(7月は14億ズロチの貿易赤字)。